

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスLUMO 三田校

公表日 2020年2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	限期や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用者が発達支援室等のスペースとの区別が適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保している。	法令を遵守したスペースを確保する。
	2 利用児童やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保している。	法令を遵守したスペースを確保する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や備後設備等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		現在の事業所に関する情報はお子さんの状況によって対応している。	今後の事業所に関する情報はお子さんの状況によって対応している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		活動内容に合わせて清潔さや片付け等の状況によって過ごせる生活空間の維持に努めている。	今後も生活空間に合わせた清潔さや片付けを行い心地よく過ごせる生活空間の維持に努めている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		成長段階等により同じフロア内でスペースを確保している。	成長段階等により支障内容も含まれ同じフロアでスペースを確保しグループ化等を検討する。
	6 事業改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○		事業内容については毎月毎に明確化して業務の改善化を図っている。	今後も継続して事業内容について毎月定期的に振り返り業務の改善化を図る。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の回答を受け支障の質の向上に向け協議し結果をホームページで公開している。	今後、年に1回支障の質の向上に向け協議し結果をホームページで公開する。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員の打ち合わせ等において出た意見を日々確認している。	今後も職員の打ち合わせ等において出た意見等の方向性を確認する。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	今後、本社とも連携を取り体制を整える。	今後、本社とも連携を取り体制を整える。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や社内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		日々、その程度支援内容や方法等について確認し資質向上を図っている。	今後も日々、その程度支援内容や方法等について確認し資質向上を図る。
適切な支援の提供	11 適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムについてはホームページで公表している。	今後も支援プログラムについてはホームページで公表する。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		5領域をもとにしたアセスメントを適切に行いお子さんの発達や課題を把握し保護者の意向を含めてサービス計画を作成している。	今後も方向性を出しその内容をもとにアセスメントを行い保護者と連携を図り支援計画を作成する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ガイドラインに沿って個々のお子さんの実態を把握し保護者の意向も踏まえサービス計画を作成している。	今後もガイドラインに沿って個々のお子さんの実態を把握し保護者の意向も踏まえサービス計画を作成する。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		サービス担当者会議等で現状を踏まえ今後の方向性を確認し共通理解を図っている。	今後もサービス担当者会議等で現状を踏まえ今後の方向性を確認し共通理解を図る。
	15 こどもの運動行動の状況を、構造化されたゴールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたアセスメントシートを採用し補助シートとして変更が可能なシートを使用し実態把握に努めている。	今後も標準化されたアセスメントシートを採用し補助シートとして変更可能なシートを使用し実態把握に努める。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援」・「地域連携」のつらぬき及び支援内容も含まれながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		現状の見直しについて保護者と話し合い支援内容のモニタリングを行い本人支援を実施させるための適切な支援を考慮しサービス計画を作成している。	今後の見直しについて保護者と話し合い支援内容のモニタリングを行い本人支援を実施させるための適切な支援を考慮しサービス計画を作成する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		個々の状況を踏まえプログラムを立案し共通理解を図っている。	今後も支援者全体で意見交換し、個々の状況を踏まえながらプログラムを立案し共通理解のもとチームで支援する。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		その日のお子さんの状況を踏まえプログラムを調整している。	その日のお子さんの状況を踏まえプログラムを調整して担当者を決める。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を並行組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の活動を中心に適宜個々の内容を組み合わせサービス計画を作成し支援を行っている。	その日のお子さんの状況を踏まえ、集団活動を中心に適宜個々の内容を組み合わせサービス計画を作成し支援する。
	20 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		個々の打ち合わせでは支援内容を中心に業務分掌等や留意事項等を共有している。	日々の業務開始前の打ち合わせにおいて支援内容を中心に業務分掌等や留意事項等を共有の共有化を図る。
21 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		職員で個々の打ち合わせや運営振り返りを行い気づいた点を職員で共有の共有化を図っている。	職員で個々の打ち合わせや運営振り返りを行い気づいた点を職員で共有の共有化を図る。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		システムを活用して個々の子供さんの記録をとり状況によっては方向性の修正を行っている。	システムを活用して個々の子供さんの記録をとり状況によっては方向性の修正をする。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		保護者と双方の意見交換を行い再度計画を見直ししている。	保護者と双方の意見交換を行い再度計画を見直ししている。	
24 放課後等デイサービスガイドライン「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		自立支援やお子さんの主体的参加を中心に状況に応じて適宜支援している。	今後も自立支援やお子さんの主体的参加を中心に状況に応じて適宜支援する。	
25 こどもが自己選択できるような工夫の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		お子さんの成長段階を踏まえ支援と双方の意向の取り合いの中で支援の内容に応じた自己決定できる場面を設けている。	小学校高学年や中学生については、支援員との取り合いの取り合いの中で支援の内容に応じて自己決定できる場面を設ける。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		自立支援事業所との連携をとり体制を整えている。	相談支援事業所と個々のケースを踏まえ連携を深める。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、教育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		状況を把握し関係機関との連携を構築している。	個々のケースに応じ関係機関との連携をとる。
	28 学校の連携共有（特別支援・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時刻、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		状況を把握し移行支援等で連携がとれるよう体制を整えている。	状況を把握し移行支援等で連携をとるよう体制を整えている。
	29 教育的に利用していた教育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		相談支援事業所との連携をとり体制を整えている。	相談支援事業所と個々のケースを踏まえ連携を深める。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○		状況を把握し移行支援等で連携がとれるよう体制を整えている。	状況を把握し移行支援等で連携をとるよう体制を整えている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		状況を把握し地域支援等で連携がとれるよう体制を整えている。	状況を把握し地域支援等で連携をとる。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	個々の事業により連携がとりやすいよう連携づくりを努めている。	個々の事業により連携がとりやすいよう連携づくりを努めている。
	33 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○		関係機関が協議会等に参加し情報収集や研修に努めている。	関係機関が協議会等に参加し情報収集や研修に努める。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を深めているか。	○		保護者に保護者に対してフィードバックして保育の内容をお伝えしている。サービス担当者会議についてもプリントアウトをしてお渡ししている。	送迎時に保護者に対してフィードバックして保育の内容をお伝えしサービス担当者会議についてもプリントアウトをしてお渡ししている。
	35 保護者の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して支援支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や保護者の参加による職員研修や情報提供等を行っているか。	○		子育ての取組方法についてお伝えできずや関係が整っていない場合は本部（子育て等）の活用。	子育ての取組方法についてお伝えできない場合は本部の活用について保護者の意識向上を図る。
保護者への説明	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程等については丁寧に説明している。	運営規程等について図解でも併せて説明する。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを行い協議にて保護者の意向を尊重しお伝えしお伝えを行い支援計画を作成している。	アセスメントを行い協議にて保護者の意向を尊重しお伝えしお伝えを行い支援計画を作成する。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アセスメントを行い協議にて保護者の意向を尊重しお伝えしお伝えを行い支援計画を作成し同意を得ている。	アセスメントを行い協議にて保護者の意向を尊重しお伝えしお伝えを行い支援計画を作成し同意を得る。
	39 事業所からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、適切な必要な助言と支援を行っているか。	○		活動の種や場などで相談も行っている。	対面やメールなどで気軽に相談できる環境づくりをしている。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	○	保護者同士の間を目的に輪廓していく必要があると考えている。	保護者同士の間を目的に輪廓していく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情窓口を明確にしている。
	42 定期的に通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動観察や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会社のホームページにて、活動の観察や行事予定については掲載している。	定期的にイベントは対面やメールなどで伝えしていく。
	43 個人情報取扱の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては、個々々の書面に保管し、厳重にしている。	個々々々も厳重にしている。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者の状況の他に児童の様子については確認を行っている。また、相談しやすき環境にしている。	意思疎通についてはわかりやすい工夫を行っている。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域とのかかわりや考えを相談している。	地域とのかかわりや考えを相談する。
支援内容の対応	46 事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		去でマニュアルが職員が確認できるようにまとめている。保護者からの要望があれば提示することが出るようにしている。	保護者からの要望があれば提示できるようにしていく。
	47 継続研修計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に際し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に2回避難訓練の実施を行い、実施が定まった際の避難場所については、事業所に掲示しており、契約時にも保護者に伝えられている。	事業所内に避難場所の掲示があり、契約時にも保護者に伝えられている。
	48 事前に、感染症予防接種、めんかつ発作等のこどもの状況を把握しているか。	○		経路や感染源のアセスメントの中で状況を把握するよう努めている。	経路や感染源のアセスメントの中で状況を把握するよう努める。
	49 食アレルギーのあるこどもについて、医師の指示に基づき対応がされているか。	○		医師に依頼している。	アセスメントシートに食アレルギーの項目を入れる。
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な状態で支援が行われているか。	○		安全管理に関する情報は本社と連携して行い実施も分かっている。	安全管理に関する情報は本社と連携して行い実施も分かっている。
	51 こどもの安全確保に際して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全確保に際しては連絡訓練、その日の支援内容のフィードバック時に状況に応じて周知している。	安全確保に際しては連絡訓練、その日の支援内容のフィードバック時に状況に応じて周知する。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ヒヤリハットがあった場合はすぐに職員間で共有し、報告書の作成を行い、確認できるようにしている。	会社内でもミーティングなどで事例としての共有をしていく。
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月1回会社全体での研修を行い、事業所内でもフィードバック研修を行っている。また、新採用があった際には必ず研修を行っている。	今後も毎月1回研修を行い、マニュアルについてはいつでも周知できるようにしていく。
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、事前に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		医師等と保護者に説明を行い、同意を得ている。必要な際には計画書の記載も行っている。	緊急やむを得ない身体拘束を行う際は個別支援計画に記載し再度同意を得ている。